



2024 WORLD CONFERENCE AGAINST A&H BOMBS 原水爆禁止2024年世界大会

被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を—人類と地球の未来のために

来年は被爆80年



公務公共労働者は核兵器廃絶を誓う

核兵器廃絶へ

被爆者とともに、若い世代とともに

原水爆禁止2024年世界大会は「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を—人類と地球の未来のために」をスローガンに、8月4日〜6日広島市内を中心に開催され、約7000人が国内外から参加しました。

4日と6日の総会では、市民社会として核抑止力論を止め、日本政府に核兵器禁止条約批准、署名を求めよう、核廃絶のカギは世界中の市民の連携にあると発言が続きました。被爆者はこの苦しみは二度と味わいたくない、核と人類は共存できないと訴えました。

運動交流では、沖縄の少女暴行事件に対する県民集会の計画、高校生からの核兵器禁止条約を集めた外務省に提出する、と力強い発言に未来への希望を感じました。「広島からのよびかけ」は、来年の被爆80年へ被爆体験を語る集いに取り組み、若い世代とともに未来を切りひらこうと発信しました。

5日の「第46回自治体労働者平和のつどい」では「黒い雨」訴訟について、竹森弁護士が、高裁判決では外された疾病要件が、翌4月からの運用では要件とされ、大勢が手帳申請を却下されて第二次訴訟が始まったことに触れ、被爆実態を過小評価する国との闘いに支援を求めました。岡久原告団長も高裁判決を生かせるよう訴えました。

6日は広島市職員慰霊献花行動に全国から40人が参加。折り鶴や色紙が寄せられ、公務公共労働者として核兵器廃絶の強い決意を誓い合いました。



↑ ↓
写真は原水爆禁止世界大会や自治体労働者平和のつどいと慰霊献花行動の様子

広島自治労連連続学習会 「聞いて 知って 私たちの仕事」開催！ 第1回「広島市の行政職」教えて！



7月10日(水)、広島自治労連連続学習会「聞いて 知って 私たちの仕事」の第1回目が広島自治労連にて会場・オンライン併用で開催され、計49名が参加しました。

第1回目は広島市職労の2名から、広島市の行政の仕事についてお話を聞きました。まず、東区役所地域起こし推進課で勤務4年目となる仲間より、地域起こし推進課の業務が町づくりや地域の魅力発信、安心・安全に関する防災活動、児童館の管理、有害鳥獣への対応、農林業など多岐にわたることが紹介されました。町づくりに関わる中で行政が担う部分も大切だが、住民を主体とした町づくりが行えるようにしたいという思いも語られました。



写真は学習会にて話を聞く参加者の様子

第33回 自治体保育労働者の全国集会in広島に向けて ～② 記念講演のテーマは「憲法」～

自治体保育労働者の全国集会が2月15、16日で開催されました。一日目の記念講演は、「檻の中のライオン」を執筆した広島の弁護士、椋大樹(はんどうたいき)氏に決定しました。椋氏はYouTubeチャンネルも開設しており、「公務員がなぜ日本国憲法を守らなければならないか」ということについて発信しています。

憲法を学ぶという行為は「難しい」「ハードルが高い」と思われがちですが、ライオンは主権者、檻は憲法という例えで、非常にわかりやすい内容です。公務員にはぜひ聞いてもらいたい内容となっております。初日だけの参加も可能ですので、2月15日は国際会議場にぜひお越しください！

ご参加お待ちしております♪



ひろしま給食まつり プチプチ2024

7月28日(日)、広島市安佐北区高陽公民館で、市民のみなさんに広島市の現在の給食の良さを知っていただくため、『ひろしま給食まつりプチプチ2024』が開催され、350人超の来場者で賑わいました。

来場した子どもたちは、豆つかみや輪投げ、箱の中身当てやぬり絵など『食』に因んだ遊びに参加

したり、環境局の『ごみの分別紙芝居』やパネルクイズを楽しみました。食育コーナーでは、給食クイズや野菜の皮むき体験に真剣に取り組み、給食の展示コーナーでは、実際に使用する大きな調理器具に触れ、驚いた様子も楽しそうでした。

来場者からは、「懐かしいなあ」「昔と変わらない、給食の味だ!」と感想をいただき、大盛況。給食の『いま』そ



単組の定期大会(総会)

7月21日(日)、第112回定期大会を開催。活動方針では、人事院勧告の「給与制度のアップグレード」が盛り込まれる見込みから、地域手当の大きくり化や扶養手当の見直し等、市職員にも影響が及ぶ懸念事項を要求書に盛り込むよう提案。さらに、「社会的関心が高い「カスハラ」対策についても要求をあげることも言及し、すべての議案が採択されました。

7月30日(火)まちづくり市民交流プラザで、第29回定期総会を開催し15名が参加。「青少年施設の今後や、非常勤職員の時金問題等の現状に、あきらめず声を上げ、広島市の社会教育の発展と、安心して働ける職場環境を目指し、皆さんと力を合わせ頑張っていきたいと思います。」と確認しました。

7月30日(火)、第16回定期大会を開催。住民生活を支える13名の仲間が参加。自治労連の「3Tアクション」全国運動で、会計年度任用職員制度導入5年目の今年、勤め手当の支給となりま

広島市の「今の給食の良さを伝える」活動



紛争地 難民へハイスピード 子どもに伝える平和

7月27日(土) 29日(月)、第56回全国保育団体合同研究集会(以下、合研)が熊本県を拠点にハイブリットで開催され、会場とオンラインを合わせて全国で7200人を越える参加があり、広島市職労から12名が現地で、25名がオンラインで参加しました。

テーマは「つながり、ふみだし、つくりだそう」子どもに笑顔と平和のために。熊本の保育士たちの力強い合唱でスタートしました。



分科会「公立保育所の廃止・民営化を考える」

分科会では熱い討論が繰り広げられる

子どもたちに平和をどう説明しているのか。記念講演では安田

さんが、「共に生きる」とはなにかー紛争地、難民、家族の声から考える平和ー」のテーマで、シリアやウクライナ、パレスチナ自治区ガザで暮らす人々の思いを、写真と言葉で伝えてきた活動を紹介されました。

<p>広島自治労連 2024「秋の組織集会」 ●9月19日(木) 18:45~20:30 ●広島ロードビルでオンライン併用で開催 ●「自治労連 共済の魅力を活かして組織拡大を」(仮称) ●講師 自治労連共済 山田事務長 ●各単組から積極的にご参加ください</p>	<p>広島自治労連 非正規連絡会 ヒロシマ主催 「2024秋闘勝利! 学習決起集会」 ●9月28日(土)夕方 時間は決まり次第、単組役員を通じてお知らせします。 ●市民交流プラザでオンライン併用で開催 ●講師 自治労連賃金権利局長 嶋林弘一さん</p>	<p>広島自治労連 第35回定期大会 ●10月20日(日) 12:30~17:00 ●広島ロードビルでオンライン併用で開催 ●内容 活動報告、運動方針提案、役員選挙 ●各単組の代議員登録と発言をお願いいたします。 ●3件とも問い合わせは 広島自治労連 Tel 082-243-9240</p>
---	--	--

広島自治労連連続学習会

「聞いて 知って 私たちの仕事」
第3回：9月27日(金) 19時~20時30分
お話する仲間：広島県福祉事業団労組
広島介護労

